



地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

| I. 提案事業の概要 | |
|--------------------|---|
| 1. 国名 | マレーシア |
| 2. 事業名 | フレーザーヒル廃棄物管理改善事業 Improvement of Solid Waste Management in Fraser's Hill |
| 3. 事業の背景と必要性 | フレーザーヒルは急峻で自然豊かな山岳地帯にあり年間12万人もの観光客が訪れるマレーシアの代表的な観光地である。近年、フレーザーヒルでは最終処分場残余容量の逼迫や地下水汚染など、住民や観光客に対する悪影響が懸念されるとともに、現処分場は50km離れた山麓にありごみ搬送の負担が大きな課題となっており、早急な対策が求められている。現地の廃棄物管理は国家固形廃棄物管理公社（PPSPPA）が統括管理する中、フレーザーヒルローカルオーソリティー（FHLA）が実務を行っている。このような状況の中、PPSPPA及びFHLA職員に対して、分別・リサイクルによるごみの減量化の仕組みづくりや、処分場の延命化・環境汚染防止対策の指導を通じて、現地職員の廃棄物処理管理・改善能力の向上が必要とされている。 |
| 4. プロジェクト目標 | PPSPPA職員及びFHLA職員の廃棄物管理能力が向上する。 |
| 5. 対象地域 | フレーザーヒル地区 |
| 6. 受益者層 (人数規模) | フレーザーヒル地区住民 約1,000人 |
| 7. 活動及び期待されるアウトプット | <アウトプット> 1. 家庭系・事業系ごみの分別収集・リサイクルシステムが確立される。 2. 事業系生ごみのコンポストセンターの運用が開始される。 3. PPSPPA職員及びFHLA職員が最終処分場の管理・改善に係る調査方法や計画策定技術を理解する。 <活動> 1. 分別収集システム構築、市民説明会実施、機材調達、リサイクルシステム構築、リサイクルの実施 2. ごみ量調査、分別収集システム構築、市民説明会実施、機材調達、生ごみの分別収集、コンポストの生産及び流通、リサイクル推進活動実施 3. Jalan Jeriau Landfill（旧処分場）の環境汚染状況調査・汚染防止ガイドライン作成、Cheroh Landfill（現処分場）の延命化対策提案 |
| 8. 実施期間 | 2014年10月～2016年9月 |
| 9. 事業費概算額 | 59,960千円 |
| 10. 事業の実施体制 | 日本側：北九州市、（公財）北九州環境整備協会、楽しい（株）、ひびき灘開発（株） マレーシア側：PPSPPA、FHLA |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 (提案自治体) | 北九州市 |
| 2. 対象国との関係、協力実績 | 北九州市はマレーシア国においてJICA草の根固形廃棄物管理の効率化事業（2011～2012年度）等を実施しており、協力関係が構築されている。 |